

令和6年度

小・中学校GIGAスクール教科等研究集会

小学校 家庭科

徳島県教育委員会

家庭科の目標

柱書き 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

育成を目指す資質・能力

(1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

知識及び技能

(2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。

思考力、判断力、表現力等

(3) 家庭生活を大切にする心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

学びに向かう力、人間性等

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説家庭編より抜粋

確認してみましょう

- 学習指導要領の趣旨を踏まえ、資質・能力の育成を目指した取組を心がけていますか。
- 「新しい題材を開発すること」に力点が置かれ、学習指導要領の内容から外れてしまう実践をしていませんか。
- 題材の学習過程を工夫し、実生活と関連を図った問題解決的な学習を取り入れた実践を行っていますか。
- 子供主体の学習活動になっていますか。

はじめに



学習指導要領のよりよい実施

「着実な実施」を基盤とした日々の授業の質の向上

・学習指導要領を「理解している」つもり
・学習指導要領の誤った解釈
・誰も行っていない題材の開発
など

・学習指導要領を再度確認する
・日頃の授業をブラッシュアップする
・授業展開・発問
・ワークシート・評価
・研修会への積極的な参加
など

令和6年度小学校中学校各教科等教育課程研究協議会（小中・家庭）

学習指導要領の「よりよい実施」に向けた成果と課題



《成果》

- なぜ、学習指導要領が大切なのか。そして、学習指導要領及び解説を読み、それに沿った授業を行うことの大切さが伝わってきた
- 一連の学習過程を参考にしながら、問題解決的な学習を取り入れた授業が一般的になってきた
- 課題の設定をはじめ、子供主体の授業づくりに取り組む教師が増えてきた

令和6年度小学校中学校各教科等教育課程研究協議会（小中・家庭）

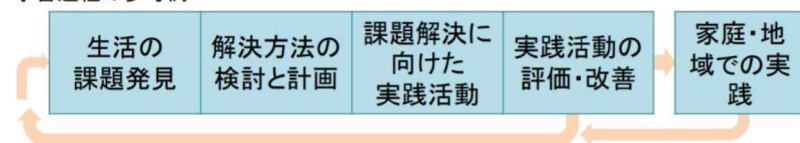
家庭科の学習

「問題解決的な学習を通して
課題を解決する力を養う」

問題解決的な学習



学習過程の参考例



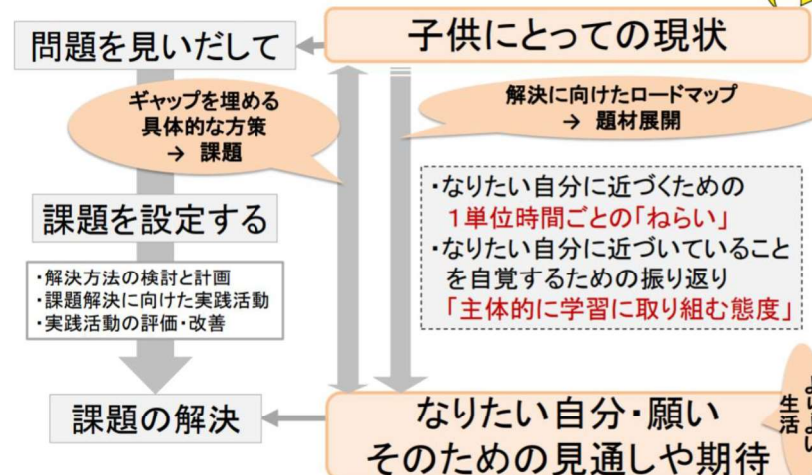
充実させるために・・・

- まずは、とにかく「型」に沿ってやってみる！
- 「型」に沿った問題解決的な学習による実践を積み重ねる

授業をやって、手応えをつかむことが大切

令和6年度小学校中学校各教科等教育課程研究協議会（小中・家庭）

問題解決的な学習とは？



令和6年度小学校中学校各教科等教育課程研究協議会（小中・家庭）



《課題》

■学習指導要領の「着実な実施」が必要な学校や先生がいる

→子供に資質・能力が育成されない

■問題解決的な学習が「型」になってきている

■子供にとって必要感のある課題が設定され、その課題の解決に向けた授業が展開されていない

→課題を解決する力が養われない

令和6年度小学校中学校各教科等教育課程研究協議会（小中・家庭）

○学習指導要領の「着実な実施」が必要

・教科書を用いて、教科書の内容を教えていませんか

・学習指導要領解説は確認していますか

○子供にとって必要感のある課題の設定

・問題解決的な学習が「型」になっていませんか

もしかしたら・・・

・ワンパターンな授業展開の繰り返しになっていませんか

○子供にとって必要感のある課題の設定

その課題の解決に向けた授業展開

もしかしたら・・・

・教師の都合で授業が進んでいませんか

・設定した課題が忘れ去られていることはありませんか

事例

○自分の家庭で実践してきたことについて、グループで話し合い、お互いの実践についてアドバイスする場面で…

アドバイス、することないなあ。

それは知らなかった。
気付かなかったからもっと教えて。

違いは、子供にとって、
解決の必要性がある課題が設定されているかどうか。

「評価・改善」の場面がワンパターンになる



- 子供にとって、解決の必要がある課題が設定されているか？グループでの交流、全体での共有の必要感はあるか？
→教師の都合で行っていないか？

- 子供に解決の必要感が生まれる授業づくりを目指す必要はないか？

例) 評価・改善の場面

「自分の取組を評価してもらいたい」
「友達の考えを聞いてみたい」

令和6年度小学校中学校各教科等教育課程研究協議会（小中・家庭）

事例 ○小学校で3学期から使う自主学習用のノートを選ぶ授業で、6種類から選ぶ場面

【Kくん】1冊終わっても、まだ家にノートがあるから、買いに行かなくてもいい。だから僕はこれにする。

意見交換により、
多様な考えに触れる

【Hくん】1冊の枚数が多いノートを選びました。理由は、1冊終えたという達成感があるからです。

Kくんは、いちいち買いに行かなくてもすむと言っていたけれど、デザインがスマートで、**私にとっては、かわいい方がやる気が出るので、Eにしました。**

理由はやっぱり、水平になっていて文字を書きやすそうだし、ノートを開いたときに水平になってくれるからです。**Hくんの枚数のことはなるほどとは思っていたけれど、自分に合ったノートはCだからです。**

根拠をもってノートを決めることができた

事例 ○袋の製作発表会の場面で…

イヤフォンが入るように、バッグにポケットを手縫いで付けました。でも、タブレットが入る大きになってしまいました。
ポケットもそうだけど、**布で物を作るときは、入れたい物の大きさや使う場所とかに合わせて作ることが大切**のかな、と思いました。

【課題】(題材のゴール)

「快適で使いやすいバッグを作ろう」

いつもこの視点で振り返る

振り返りの発問

「快適で使いやすいバッグを作ってきたね。それについてどうでしたか。」

学習の本質に近づく言葉を発言
必要感 できるようになった

課題を解消し、家庭科、家庭分野における
資質・能力を育成するために

事例 ○「ゆでる授業」
カラフルゆで野菜サラダをつくろう

【条件】

- ①ゆで方の違う野菜を3種類考える。
- ②おいしい。
- ③見た目がカラフル。
- ④切り方も工夫する。
- ⑤ゆでるのは1回だけ。

○ カラフルゆで野菜サラダをつくろう



○ カラフルゆで野菜サラダをつくろう



次の時間 調理実習

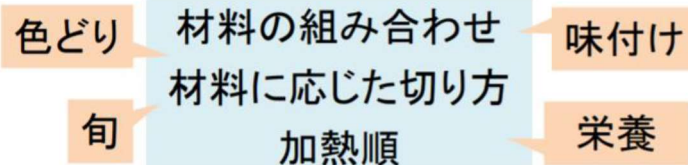
「答え」は子供の姿にある



(小学校「解説」より)

内容B(2)ア(エ) 材料に適したゆで方

…幾つかの材料を組み合わせて調理し、材料に応じて切り方を変えたり、火の通りにくいものから順に加熱したり…



学習指導要領の「着実な実施」ではあるけれど
1時間の授業の中で、学ぶことが盛りだくさん！

令和6年度小学校中学校各教科等教育課程研究協議会（小中・家庭）

「答え」は子供の姿にある



家庭科、家庭分野を指導する先生にありがちな考え方

- あれを身に付けさせなきゃ
- これを身に付けさせなきゃ

教師自身は「自立」し、「家庭生活を営んでいる」

教師が思っているほど、子供は生活経験がない

このくらいできないと困るのですが…

令和6年度小学校中学校各教科等教育課程研究協議会（小中・家庭）

「答え」は子供の姿にある



家庭科、家庭分野を指導する先生にありがちな考え方

- 大人になったときに困るから、教えなきゃ
- このことを知らないと困るから、教えなきゃ
- これができないと困るから、教えなきゃ

教師の「価値観」が授業内容に反映されがち

□□が身に付かないと困りますよね？
だから私は○○を教えているんです！

令和6年度小学校中学校各教科等教育課程研究協議会（小中・家庭）

「答え」は子供の姿にある



学習指導要領の「着実な実施」

この内容では足りない！
あれも教えなきゃ、これも教えなきゃ

学習指導要領の目標や内容が置き去りになり、
発展した授業内容が展開され始める

小学校で中学校の学習内容
中学校で高等学校の学習内容
教師の「オリジナル」な学習内容

育成すべき資質・能力は一体どこへ？？？

令和6年度小学校中学校各教科等教育課程研究協議会（小中・家庭）

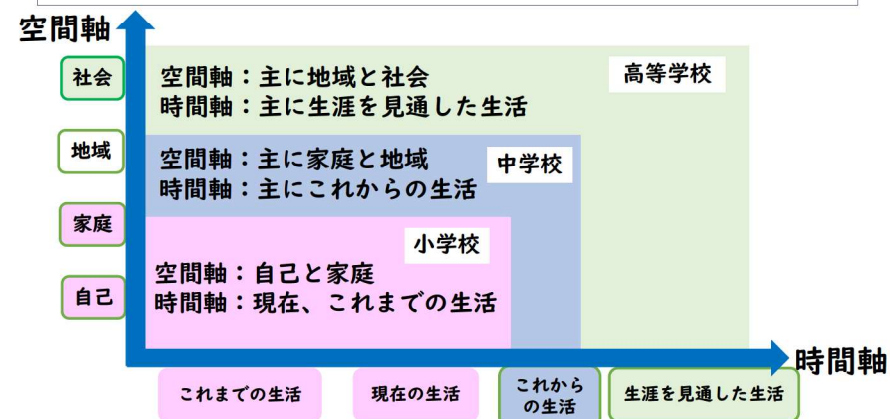


学習指導要領の再確認



内容の構成（解説P.17）

空間軸・時間軸の視点からの 学習対象の明確化



小学校学習指導要領（平成29年告示）解説家庭編より作成

小学校の学習が基礎になり、 「生きる力」を育てる教科

小学校

家庭科

5年 60時間

6年 55時間

中学校

技術・家庭科
（家庭分野）

87.5時間

高校

家庭科

2または4単位

自立

共生

「小学校での学びが、中学校で
どのようにつながるか」の視点

小・中・高等学校の内容の系統性の明確化